

科学技術 これからの100年ロードマップ

2016年の活動状況

NPOテクノ未来塾 サークルB-3の新構想

- (リーダー) : 都築正詞 → 中谷康雄
 (メンバー) : 辻岡啓司、出川通、中田秀樹、中瀬敬子、中山敦、松嶋隆、川島卓也、松井由紀、小野内徹、市川浩司、福井清、船渡俊行 (敬称略 計14名)
 (相互乗り入れ) : B-2「古代技術とガイドブック作成」サークル
 (アドバイザー) : 阿部 惇 先生

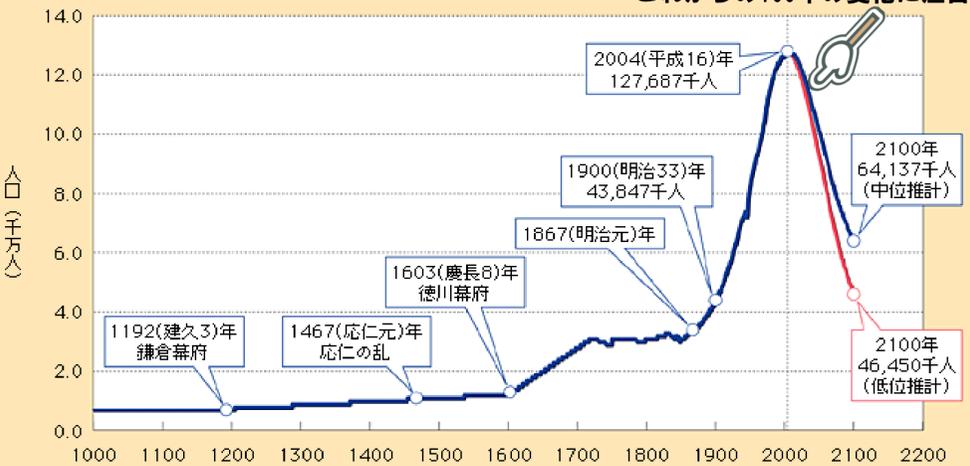


- 2月 / 岩村合宿 (活動内容・目標の再検討)
- 5月 / 熱海合宿 (システム思考、過去に学ぶ)
- 6-7月 / システム思考実習
「ループ図」製作
支援ソフト「Vensim」紹介
- 7-8月 / 縄文遺跡見学 (北海道・東北・信越)
- 12月 / 寺子屋フォーラム (今後の活動を議論)



日本の人口動態

これまでの100年と
これからの100年の変化に注目



資料: 1872年以前は、鬼頭宏「人口から読む日本の歴史」講談社(2000年)、森田優三「人口増加の分析」日本評論社(1944年)による。1872年から2004年までは総務省統計局「国勢調査」、「10月1日現在推計人口」による。2005年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成14年1月推計)」。
 注: 推計値のうち、2051年から2100年までは参考推計。

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2005/17webhonpen/html/h1130010.html>
 内閣府

「成長の限界」と言われたものの

食料:

日本は先進国の中ではアメリカに次ぐ高い食料自給率にある。

「自給率が40%を下回っているから・・・」は自分で調べればすぐに分かる話

エネルギー:

化石燃料の枯渇が叫ばれたが、シェール革命が起きた。原発がこれだけ停止していてもとりあえず凌いでいる。

情報:

インターネットは一部の国を除き急速に普及した。スマートフォンがこれほど普及することは誰が予測できたか。



大切な事! これで、国民は幸せになったのか、希望ある未来が見えているのか?

日本の人口のピークが見え始めていたころ

2002年5月7日 小泉純一郎首相(当時) 所信表明演説より

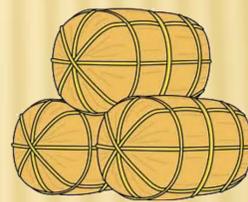
今の痛みに耐えて明日を良くしようという『米百俵の精神』こそ、改革を進めようとする今日の我々に必要ではないでしょうか。

新世紀を迎え、日本が希望に満ち溢れた未来を創造できるか否かは、国民一人ひとりの、改革に立ち向かう志と決意にかかっています。

この頃の方が今より希望があったように思いませんか・・・



「米百俵」の引用には深い意味があったのですが、どこまで理解されていたのでしょうかね・・・



技術は進歩し続けますが・・・

新たに台頭してきた経済格差、貧困問題などは科学技術だけで解決できるだろうか?

コンラッド・ローレンツ 文明化した人間の8つの大罪 1973年

1. 人口の過剰 → 都市部集中
2. 環境破壊
3. 人間同士の無反省な競争 → 経済格差
4. 豊かな感性や情熱の萎縮 → 不満には過敏、満足には鈍感
5. 遺伝的な衰弱 → 社会を良くするための進化が無い
6. 伝統の破壊
7. 教化(感化)されやすさ → 過激な思想に染まりやすい
8. 核兵器による軍拡

・これからの100年の未来を見る
 科学技術のロードマップを作成してみよう。
 希望のある未来社会の実現に向けて100年後の「ありたい姿」「あるべき姿」を共有する。
 新しい価値観、社会的課題の変化の到来を考える。

キーワードは持続可能性社会

これを手元に置きながら未来を考えませんか?